

# 水生生物調査 2016年 7月～12月

月 日 時刻	7月16日(土)14:40				8月31日(水)13:45				9月17日(土)14:45				10月15日(土)14:25				11月20日(日)14:20				12月17日(土)14:20			
場所	水路	Aビ田	Bビ田	小川	水路	Aビ田	Bビ田	小川	水路	Aビ田	Bビ田	小川	水路	Aビ田	Bビ田	小川	水路	Aビ田	Bビ田	小川	水路	Aビ田	Bビ田	小川
気温	26.8				31.4				29.3				21.5				21.3				10.3			
水温	20.9	23.0	23.6	29.0	19.7	21.1	20.6	29.8	18.2	21.9	27.6	24.1	17.1	19.0	17.0	19.7	16.5	17.7	19.3	18.6	13.7	14.7	14.0	15.1
PH	7.1	—	7.1	—	7.1	7.2	7.0	7.1	6.5	6.8	6.7	6.8	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.1	8.0	7.4	7.0	7.0	6.9	7.0
1 ヨコエビ	○				○				○				○				○				○			
2 ミズムシ(ダングムシ型)	○				○				○				○				○				○			
3 ミズムシ(ボート型)			○				○				○											○		○
4 サホコカゲロウ	○	○	○		○	○																		
5 カクツツビゲラ																								
6 ユスリカ			○		○																			
7 ガガンボ					○								○											
8 アメンボ	○	○	○				○		○		○		○				○							
9 プラナリア	○				○				◎				◎				○				◎			
10 ミミズ					○	○	○			○	○			○	○									
11 イトミミズ					○																			
12 ミジンコ		○	○																					
13 クロゲンゴロウ																								
14 ハイロゲンゴロウ		○	○				○																	
15 ガムシ			○				○																	
16 ヤゴ(シオカラ等)		○	○			○	○			○	○			○	○									
17 カワニナ	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○		◎	○	○		◎	○	○	○	◎	○	○	○
18 マルタニシ		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○
19 シジミ	○				○				○				○				○							
20 サカマキガイ		○	○	○		○	○	○		○	○			○	○			○	○			○	○	
21 ドジョウ		○	○	○		○	○	○		○	○			○	○	○		○	○			○	○	
22 クロメダカ		◎	○	◎		◎	◎	◎		◎	○	◎		○	◎	◎		○	◎	◎		○	◎	◎
23 オイカワ		○		○		◎		○		◎				◎				◎				○	○	○
24 アブラハヤ		○	○	○		○	○	○										○	○	○		○	○	○
25 スジエビ		○	○	◎		○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○
26 ザリガニ		○	○	◎		○	○	◎		◎	◎	◎		○	○	○		○	○	○		○	○	○
27 サワガニ	○				○				○				◎											
28 オタマジャクシ																								
29 カワモズク																								
30 アオミドロ		○	○	◎			◎	○			○			○	○			○	○	○		○	○	○
31 サヤミドロ																								
32 その他	ヒル				ヒル				マメシジミ		モツゴ					モツゴ	マメシジミ				マメシジミ			
備考	Aビオトープにアオミドロ対策として栽培したハスが4年目にして開花した。アオミドロを抑える効果はほとんどなかったが、その花の美しさは光っていた。クロメダカは今も増え続けている				二つの台風をはじめ、降水日・降水量が多く、水の管理はし易かった。そのためイネの中干し期に水量が減り、メダカ等が水の落ちた田に取り残されることもなく、良かった。				稲刈りに向けて田の水を落したことで、メダカ・ドジョウ・ヤゴ等たくさんの水生生物が採集・移動できた。赤化したクロメダカが半年で4匹も観察できそれは個体数の多さを物語っている				赤化したクロメダカの5匹目が観察された。その近くの竹杭にカワセミが止まり、糞を飛ばしていく。小さなメダカを食べているのだろうか。上流側の田圃でもクロメダカが泳いでいた。				畑横の水路でも20匹程のクロメダカ群が観られた。流れが弱くなったBビオープと小川にアオミドロが多い。来春ハスが芽を出し易いようにハス田にはびこっていたチゴザサを除去した。				冬になってもアオミドロが繁茂している。魚類の隠れ場になっていたオオフサモ(特定外来種)を除去したが、その代役をしている。畦にヒガンバナが葉を茂らせている。ダイサギ、ノスリもやってきた。			